

製品名: ギルディンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87456**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:500-1:2000, FC 1:50-1:200, IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:216 kDa; Observed MW:216 kDa

抗原情報

遺伝子名	Girdin
別名	APE; GIV; GRDN; PEHO; HkRP1; PEHOL; GIRDIN; KIAA1212
遺伝子 ID	55704
SwissProt ID	Q3V6T2
免疫原	ヒト Girdin の組換えタンパク質

背景

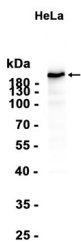
この遺伝子は、コイルドコイルドメイン含有タンパク質である Girdin ファミリーのメンバーをコードしています。コードされている

タンパク質はアクチン結合タンパク質であり、セリン / スレオニンキナーゼ Akt によって活性化され、細胞骨格のリモデリングと細胞遊走に関与しています。また、コードされているタンパク質は、成長因子受容体チロシンキナーゼおよび G タンパク質共役受容体によるホスホイノシチド 3 キナーゼ (PI3K) 依存性 Akt 活性化を媒介することで、Akt シグナル伝達を促進します。この遺伝子の発現増加とコードされているタンパク質のリン酸化は、癌の転移に関与している可能性があります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 12 月]

研究分野

-

画像データ



Girdin ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。